議事録

作成日	担当
2022年3月18日	竹田

会議名称	第3回 道頓堀川水辺空間利活用検討会
開催日時	2022年3月15日(火)15:00～16:50
開催場所	パークスタワー 7階 B会議室

出席者 (役職・敬称 略)(順不同)

【委　　員】	嘉名 座長(大阪市立大学大学院 工学研究科 教授)、杉山(兵庫県立大学 環境人間学部 准教授)、豊島(弁護士)、吉田(公認会計士)、(代理)永尾(道頓堀商店会)、増田(宗右衛門町商店街振興組合 理事長)、高井(道頓堀商店街振興組合 理事長)、高橋(ミナミ御堂筋の会 代表理事)、田中(道頓堀一丁目西櫓振興町会 会長)、(代理)池田(明)(道頓堀商店連盟)、長岡(高台連合振興町会 相談役)、加瀬澤(塩草連合会 副会長・桜川東振興町会 会長)
【大阪市関連部局】	谷口(中央区役所)、横山(浪速区役所)、大島(西区役所)、和田(経済戦略局)、中瀬(建設局 河川・渡船管理事務所)
【事　務　局】	川戸、松原、古谷、深谷(建設局河川課)
【管理運営事業者】	木原、矢野、酒井、竹田(南海電気鉄道株式会社)
【傍聴・報道関係】	中本総合法律事務所道頓堀商店会1名、建設局河川・渡船管理事務所1名(傍聴)　(24名)

提供資料	作成元
資料－1 「道頓堀川水辺空間利活用検討会」開催要綱	事務局(建設局 河川課)
資料－2 道頓堀川水辺空間利活用検討会出席者名簿	事務局(建設局 河川課)
資料－3 座席表	事務局(建設局 河川課)
資料－4 第2回道頓堀川水辺空間利活用検討会議事要旨	事務局(建設局 河川課)
資料－5 2021年度の管理運営状況等について	管理運営事業者(南海電気鉄道株式会社)
資料－6 かわまち大賞概要	事務局(建設局 河川課)

(者・発言部署)

1. 開催

事務局 河川課 深谷

本日は、お忙しい中、またコロナ渦の中お集まりいただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より「第3回 道頓堀川水辺空間利活用検討会」を開会させていただきます。本日の司会をつとめさせていただきます、大阪市建設局企画部河川課の深谷です。よろしくお願いします。会議中はコロナウイルス感染防止のため、マスクの常時着用をお願いいたします。また、換気のために随時扉の開放を行いますのでご了承ください。なお、会議中に発言を希望される際は、マイクをお渡しさせていただきますので、挙手でお知らせいただきますようお願いいたします。
会議の傍聴についてご説明させていただきます。
【2 傍聴者の遵守事項】傍聴者は、会場内において次の事項を守ってください。はち巻き、たすき、ヘルメット等は着用できません。ビラ配布、プラカード・旗等の持込みはできません。会場内での飲食及び喫煙はご遠慮ください。携帯電話などは、受信音が出ないように、電源を切るかマナーモードへの切り替えをお願いします。写真撮影、録画、録音などはできません。会議開催中は、静かに傍聴し、発言、拍手等による、公然とした意見表明はお控えください。その他会場の秩序を乱すなど、会議の支障となるような行為をお控えください。
【3 会議の秩序維持】(1)傍聴者は、会場内においては、座長又は事務局の指示に従ってください。(2)指示に従わないときは、退場していただく場合があります。
傍聴にあたっての留意事項は以上です。本会議の円滑な進行にご協力ください。
それでは、会議の方進めてまいります。
まず、事務局を代表いたしまして、河川課長の大島より一言ご挨拶を申し上げる予定でしたが、公務により急遽欠席となりましたので、河川課長代理の川戸よりご挨拶申し上げます。

事務局 河川課 川戸

建設局企画部河川課長代理の川戸です。どうぞよろしくお願いいたします。
本日はお忙しい中、皆様お集まりいただきましてありがとうございます。課長の大島が急な諸事情によりまして欠席となりましたので、私からひとことご挨拶を申し上げます。道頓堀川水辺空間の賑わいづくりに関しては、平成24年度から開始されまして民活事業による取り組みとして、今回で三期目となります。これもここにお集まりの皆さんのご協力によって、こういった事業が継続されたことについて、大変嬉しく思っております。しかしながら今年度は昨年度に引き続きまして、コロナの影響によりまして緊急事態宣言が発出され、イベントの自粛などが求められておりまして、みなさまにはいろいろ大変な思いをされているかと思っております。そのような中、管理運営事業者である南海電鉄さん、また地域の方々のご尽力によりまして、イベント等を継続して実施していただけたというところは、非常にありがたいという思いでおります。このコロナが終息した折にはこの道頓堀川に再び昔のような賑わいを取り戻せるように、我々河川管理者としましても、どんどん積極的に情報発信していきたいと考えております。また明るいニュースとしまして今年度、国土交通省が開催しております、「かわまち大賞」に道頓堀川の水辺整備事業が受賞することとなり、授賞式に参加していただいた方にはこの場をお借りしましてお礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。今後の予定ですが、2025年に大阪万博の開催に合わせまして道頓堀川の遊歩道に関して色んなリフレッシュ事業を計画しております。また工事の際には沿川の方々には色々ご迷惑をおかけすることになると思いますが、引き続きご協力のほど、よろしくお願いしたいと思います。本日の会議は皆様からの忌憚のないご意見をいただいて、我々の今後の河川事業に活かしていきたいと思いますので、積極的な意見交換をよろしくお願いしたいと思います。雑駁ですが私からのご挨拶は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

事務局 河川課 深谷

それでは、お手元の配布資料の確認をさせていただきます。
＜資料説明＞
1.『議事次第』
2.『資料1 「道頓堀川水辺空間利活用検討会」開催要綱』
3.『資料2 第3回 道頓堀川水辺空間利活用検討会出席者名簿』
4.『資料3 第3回 道頓堀川水辺空間利活用検討会座席表』
5.『資料4 第2回 道頓堀川水辺空間利活用検討会議事要旨』
6.『資料5 2021年度の管理運営状況等について』
7.『資料6 かわまち大賞受賞概要』
以上、資料は7種類ですが、資料の不足がございましたら、お知らせ願います。

2. 事務局より委員・出席者紹介

事務局 河川課 深谷

それでは、議事次第に沿って進めさせていただきます。
まず、本日の出席者をご紹介させていただきます。資料2に委員名簿、資料3に本日の配席表を添付しております。
委員の方々からご紹介いたします。
大阪市立大学大学院 工学研究科 教授であり、本検討会の座長を務めていただいております嘉名光市先生
兵庫県立大学 環境人間学部 准教授の杉山武志先生
弁護士であり、本検討会の座長代理を務めていただいております豊島ひろ江先生
公認会計士 吉田恭子先生
続きまして地元代表者のご紹介です。
道頓堀商店会 会長の上山勝也様は本日欠席となっております。代理出席でおられます永尾様
宗右衛門町商店街振興組合理事長 増田様
道頓堀商店街振興組合理事長 高井 様
一般社団法人ミナミ御堂筋の会 代表理事 高橋様
道頓堀一丁目西櫓振興町会 会長 田中様
道頓堀商店連盟会長の池田秀行様は本日欠席となります。代理出席でおられます池田明広 様
高台連合振興町会 相談役 長岡様
塩草連合会副会長・桜川東振興町会会長の加瀬澤 様
次に、大阪市関連部局のご紹介です。
中央区役所 まち魅力推進担当 谷口課長
浪速区役所 まちづくり・財産活用担当 横山課長代理
西区役所 きずなづくり課 大島課長
経済戦略局 観光部水辺魅力担当 和田課長
建設局河川・渡船管理事務所 中瀬所長
続きまして管理運営主体のご紹介です。
南海電気鉄道株式会社まち共創本部グレーターなんば創造部部長 木原様。同じくグレーターなんば創造部課長 矢野様。同じくグレーターなんば創造部課長補佐 酒井様。同じくグレーターなんば創造部課長補佐 竹田様。
最後に事務局のご紹介です。 建設局河川課長の大島は本日公務により欠席となっております。
同じく建設局河川課長代理の川戸です。同じく建設局河川課担当係長 松原です。同じく建設局河川課担当係長 古谷です。最後に同じく河川課の深谷です。本日はよろしくお願いいたします。
それでは、ここからの進行につきましては嘉名座長にお願いいたします。

議事録	作成日	担当
	2022年3月18日	竹田

3. 議事
(1)振り返り

◆前回検討会について

嘉名座長

それでは、引き続きでございます。皆様よろしくお願いいたします。次第にそって進めてまいりたいと思います。
まず最初に、前回検討会についてのふりかえりを行ってまいりたいと思います。「第2回道頓堀川水辺空間利活用検討会」について事務局より説明をお願いいたします。

事務局
河川課　松原

それでは、事務局より振り返りをさせていただきます。
お手元に配らせていただきました資料4を見ていただけますでしょうか。「第2回 道頓堀川水辺空間利活用検討会 議事要旨」ということで昨年開催させていただいた令和3年3月18日、本日と同じ場所、パークスタワー7階のB会議室で開催させていただいております。下の「4　議事」を見ていただいて(2)の報告事項というところで2020年度の管理運営状況等についてということで南海電鉄さまから、大きく3つ報告いただいております。「コロナ禍における取り組みについて」ということで大阪モデルにあわせた戎橋ライトアップ実施等、二つ目「道頓堀橋下の通路開放について」、三つ目としまして「現状の課題について」ということで、コロナ禍によるオープンカフェ契約店舗数の減少やとんぼりリバーウォーク内でのスケートボードの使用についてをご報告いただいております。その他については委員の皆様から様々なご意見をいただきまして、SNSを活用したとんぼりリバーウォークの広告等、またとんぼりリバーウォーク内でのドローンの使用について等ご意見をいただきました。検討事項のところで南海さんの報告事項の中にもありましたが道頓堀橋下の通路開放についてということで事務局より議題として提案させていただきました。内容としましては令和元年11月より開放時間の延長実施を行っており、さらに令和2年8月より試行実施として24時間の常時解放、令和3年4月から24時間解放を本格実施ということでご議論いただき、この検討会において24時間解放の結論を得ました。
昨年の振り返りにつきまして、事務局より以上でございます。

嘉名座長

はい、ありがとうございました。それでは、この件について、何かご質問等あればお願いしたいと思います。
何もなければ次に進めてまいりたいと思います。ありがとうございます。
それでは議事に移って参りたいと思います。今日のメインのところかと思いますけども、2021年度の管理運営状況等について南海電鉄さんからご説明をお願いしたいと思います。

◆2021年度の管理運営状況等について(資料－5)

管理運営事業者
南海電鉄　木原

南海電鉄の木原でございます。それでは21年度の管理報告ということで、コロナ禍の一年ではございましたが、担当の方からご報告を申し上げます。

管理運営事業者
南海電鉄　竹田

それでは、2021年度の管理運営状況等につきましてご報告申し上げます。7ページをご覧ください。第三期2021年についてということで、大阪府では、新型コロナウイルス感染症の流行および感染拡大防止によって、本年度開始時からまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発出などで、賑わい創出を柱とした収益事業にも多大な影響を受けました。飲食店では、休業、酒類の提供時間制限・時短営業や会食人数の制限などといった協力要請のため、とんぼりリバーウォークの各所では特に夜間帯において多人数で飲食をされるグループが散見され、また一部で報道されていましたが、人通りが少なくなるとグリコの看板下、所謂「グリ下」と言われる戎橋のたもとで少年・少女中心の若者が集まったり、外国人同士のトラブルによる痛ましい事件なども起こりました。
しかしながら、地域の方々によるエリアの活性化に向けた熱い想いとご尽力により、「道頓堀リバーフェスティバル」、「道頓堀川万灯祭」や「中央区にぎわいスクエア」など、withコロナでの工夫された開催内容・運営対応など、規模縮小や開催順延で苦慮された状況でも開催に繋げていただきました。
南海電鉄としても、とんぼりリバーウォークでの新たな魅力の創出となるべく、地域回遊性促進の一拠点を目指して「シェアリングサービス」による新規施策の試行実施に向けて邁進しましたが、管理運営で受託している河川敷エリア内に認定道路があることが判明し、遊歩道の利用ルールが該当しない規制により中断を余儀なくされるなど、まだまだ規制に対するハードルの高さと課題が浮き彫りになった年でもありました。
そのような状況下ですが、来るべき国内外からの来街者の復活に向けて、四季折々の花の魅力を活かす花壇づくりや直面する課題に対処しつつ、活性化と収益に繋がる新たな施策などに継続して取り組み、引き続き訪れたいと思われる美観・環境を維持しながら安全・安心な管理運営に努めます。

8ページをご覧ください。賑わい創出についてということですが、下の表にございますとおり、イベントの実施状況につきましてはこのコロナ禍の2020年、2021年と件数は下がってきておりますが、本年度もイベント開催、ロケーション撮影など新型コロナウイルス感染症拡大防止による自粛などで、上期・下期とも件数が大幅に減少しました。中段のところ、イベントにつきまして、大阪府市からのイベント開催自粛要請もあり、本年度のイベントはパネル展示、イルミネーションなどの常時設置によるものが中心となりました。そのため、地域等主催によるイベント、南海電鉄の地域活性化イルミネーションを除く所謂「販売促進A(販促A)」にあたる件数は、2019年度の最高実績数となる170件に比べ、本年度は1件の実施で終わる見込です。販促Aというのは下の表にございますこれまでの賑わいの主軸となっておりました、民間・産業振興団体等が主体となったイベントが販促Aと言っております。これが最高170件であったところ、本年度は1件というところでございます。

9ページをご覧下さい。賑わいづくりの一つでありますロケーション撮影についきましてご報告いたします。本年度もテレビ番組や恒例のドラマ撮影などで「とんぼりリバーウォーク」をご利用いただきましたが、ここ数年で少し変化している事象としまして、今までですとテレビが主軸でありましたが、昨今WEBのCMや動画撮影が増加しています。中段のところに本年度実施いただきました主なロケ内容を記載させていただいております。一番下の●印のところにWEB動画撮影ということで3件、記載しております。このほかにもあるのですが、こういった動画撮影が増えてまいりました。
それから一番下のところが独立型店舗でございますけれども、湊町エリア(左岸)での利用に向けた営業活動を継続し出店調整を進めかけていましたが、冒頭でのコロナ禍も相まって白紙となりました。来年度については、大黒橋エリアで新たな活用事例とすべく、企画を詰めて実現を目指したいと取り組んでいます。

10ページをご覧下さい。広告事業でございます。2019年度に新たに導入いたしました新ロングボード、グリコの看板下あたりにあります電照看板でございます。これらを2019年に取り付けたことによって①②③の効果が出てきたということでございます。一つ目としまして年度ごとの固定広告収入による一定の底上げ効果 がありました。二つ目としまして来場者によるSNS投稿等による「とんぼりリバーウォーク」の宣伝効果 がございました。三つめとしましては広告による遊歩道への来場者増加による賑わい創出に繋がった。この三点が効果として挙げられます。写真中段に掲載しております右側にありますのが看板の前に人が集まっている様子でございます。こういった形で人の流入に繋がったというところでございます。

管理運営事業者
南海電鉄　竹田

11ページをご覧下さい。オープンカフェでございます。本来であれば遊歩道への来場動機にも繋がり、恒常的な賑わいをもたらす沿川店舗とあわせて一時的な賑わいをもたらす「イベント開催」や「ロケーション撮影でのPR効果」との相乗効果で来場に結びつけるところでしたが、本年度も新型コロナウイルスの影響により、オープンカフェ利用契約に直結する『飲食店への営業自粛・時間短縮』などの影響が顕著に現れました。さらには時短等の状態が長期化しているので、オープンカフェを利用されない店舗、移転や閉店されるケースも前年度から増加しました。12ページにオープンカフェの一覧を掲載しております。2021年度は上段左側にグレーで囲っております。このグレーで記した店舗が2021年度新たにご契約をいただいた店舗でございます。オープンカフェは退店や閉店も相次いでおるところではございますけれども、閉店された後、違った新しい店舗が営業開始されるときには、オープンカフェ利用を促すような関係性を構築してまいりまして、こういったかたちで新規の契約をしていただいております。
13ページをご覧下さい。その他の活性化策としまして、三点挙げさせていただいております。一つ目が中央区による賑わいパネル展示、二つ目がイルミネーション、三つ目のところで道頓堀橋下の通路の常時通行の実施ということで、これは2020年からこの三番目の通路開放しておりますが、これにつきましては、どうしてもコロナの状況によるところがございますのでたくさんの人が通るということよりはコロナの緊急事態であるとかまん延防止等の宣言に合わせた人通りがあるという状況でございます。

14ページ中ほどに4つ目としましてウォールアートを、これも2019年度からの継続して大黒橋～新戎橋、西側エリアで実施しておるところでございます。
15ページをご覧下さい。現場管理でございます。警備・清掃・イベントの管理を実施しております。あらためてではございますが、とんぼりリバーウォークでの基本的な警備業務内容を掲載させていただいております。事故・トラブルの未然防止と安全確保ならびに初期対応、警察・消防への緊急通報などを行っております。それから破損施設等の一次保全活動を行っております。不法占用の情報連携、防犯カメラによる映像監視等を含めた24時間の警備体制を敷いております。それから定期的な巡回警備などで安全の確保に努めております。

そういった中ではございますが16ページ、維持管理での課題と対応について記載させていただいております。一つ目としましては冒頭でも記載のとおり、遊歩道における多人数での飲食や戎橋のたもとに深夜でも未成年者が集まるなど、社会情勢によって課題も変化しています。事件被害等への未然防止も含めて警備担当者による注意喚起や対話、警察官の巡回強化を図っていただいています。二つ目としまして近年、問題となっている遊歩道でのスケートボード利用は、通行者等への危険な行為だけでなく施設破損や騒音等が発生するため、ピクトグラムこちらは中段写真の横にマークを掲載しております。こういったピクトグラムを活用した掲示や行為を発見次第、警備担当者の声掛けによる注意指導に取り組んでいます。ただ、多人数でのグループで行っている場合や日本語が理解できない方も多く、警備担当者に対する第三者行為被害もあるため交番と連携を図って安全確保に努めております。三つ目の課題でございます。毎年恒例となっているハロウィンやカウントダウンでの戎橋等からダイブなどの危険行為や雑踏警戒につきましては、地元との情報交換、所轄警察署と事前会議を開催するなどで対応策の調整と連携を行っています。
17ページをご覧ください。4つ目としまして遊歩道での飲食後のゴミ放置。近年は、コンビニエンスストア等からの持ち込みにより空き瓶や食べ残しを含めた残置物が多く、ベンチや階段付近に集中している状況です。残置物があるとカラスやネコなどが周囲にまき散らすこともあるので、ゴミ散乱が酷い場合には夜間や早朝巡回時の警備担当者の助力も得ながら環境美化に努めています。また、企業団体等も独自で清掃活動を行っていただいています。五つ目としまして、こちらが一番最近の課題となっているところでございますが、約1ケ月ほど前から、広範囲にわたる遊歩道および周辺において、鳥の糞害が発生しています。数年前には、ユリカモメやサギなどでも同様の被害がありましたが、今回は大型で集団行動する「カワウ」が飛来し、西側を中心(湊町エリアから戎橋付近)とした全域で糞の被害が出ています。近隣ビルの高所などからも糞をするので被害個所も広範囲にわたり、清掃担当の床面洗浄だけでは対処ができず、河川・渡船管理事務所による高圧洗浄機での糞除去と床面等洗浄を行っていますが、すぐに汚れます。抜本的な対策は困難ですが、対応を大阪市と検討中です。

管理運営事業者
南海電鉄　竹田

18ページでございます。収支関係でございますが、コロナの影響があったということでどうしても収入は厳しい状況でございますが、20ページにA3横の表をつけております。こちらの真ん中のところに赤い囲みで2021年度の実績見込み数値を記載させていただいております。いろいろイベントが少なかった、オープンカフェの利用も減少傾向にあるという中でも費用面でできる限り抑えながら実施したところ何とか黒字になる見込みでございます。
21ページ以降でございますが、イベント、ロケーションの実績について記載させていただいております。参考までにご覧いただければと思います。
以上で管理運営状況の報告とさせていただきます。

議事録	作成日	担当
	2022年3月18日	竹田

はい、ありがとうございました。それでは只今の報告につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。	嘉名座長
12ページにオープンカフェのお話があったと思いますが、コロナで厳しい中で新規で契約なさってくれる方がいらっしゃるということですが、こちらについて何か理由があれば教えてほしいんですけど、コロナで屋外席を確保したいということなのか、その辺わかればお教えいただければと思います。	嘉名座長
南海電鉄の酒井です。直接的な要因としましては、そもそも退店等された後に次のお店さんが入られたということが一つあります。その際に我々がお声がけさせていただきながら、少なくともメニューボード等を出すだけでお客様が入っていただける環境を作りませんかというお話をさしあげて、まずは小さくでもご利用いただける環境づくりを薦めたということであります。	管理運営者 南海電鉄　酒井
なるほど。南海さんの方で勧誘していただいているということですね。わかりました。ありがとうございます。	嘉名座長
社会経済情勢厳しい中でご努力いただきまして、本当にありがとうございます。単純に質問なのですが、7ページのシェアリングサービス新規施策の試行実施について、なかなか難しいということであったんですけれども、何か取り組みとしてなさりたいとお考えがありましたら、その具体的な中身を教えていただければと思います。あともう一点、「カワウの糞害」ですが、今後具体的にどう対策されるのかお教えいただきたいと思います。	杉山委員
まず、シェアリングサービスにつきましては、大黒橋の北側エリア上段のところですが、不法駐輪があるエリアでもあるといったところから、自転車のシェアリングポートを設置して、そこを起点としてそれぞれのエリアを巡っていただけるような形で活用できないかという相談を大阪市さんにさせていただきましたところ、利用ルールに該当しない認定道路のエリアになっているということで、難しいというところで止まっています。もう一つの「カワウ」につきましては、クルーズ船が頻繁に通っていたのですが、現在は運休されている状態で、日中帯は河川渡船さまの船くらいしか通らないという状態で、居着きやすい環境になっていたと思われます。これからはクルーズ船も定期的に就航されるということも聞いていますので少し変わってくるかと思っています。人が近寄ると飛んでいってしまいますので、人が増え、クルーズ船などで周遊することで、カワウが離れてくれることを期待しております。	管理運営者 南海電鉄　酒井
道頓堀商店会の永尾です。ありがとうございます。まさしく先ほどの「カワウ」の話ですが、今かなりの問題になっておりまして、行かれた方はびっくりされると思いますが、リバーウォークが真っ白になるくらいで、洗浄したようなのですが、取れない。ビル屋上に巣を作っていまして、そこから糞をすることによってビルの壁面、窓ガラスも真っ白になるくらいです。賑わいが無くなってきた、船も出ない、川が綺麗になって小魚が入ってくるようになり餌もある、という状況で増えてきたと思われます。スケートボードも同様、人が歩かなくなったので遊びやすくなった、外国人の集団が夜間にコンビニで酒を買って宴会をする、人が来なくなったためにそれまで来なかった人たちと、野生の鳥たちが来るようになった。改善するためには賑わいを戻す必要があると思います。またカワウについては屋上の巣を撤去するような方法について話し合っているところです。市はどちらが担当になりますか。	永尾代理
建設局河川課にも糞害についての連絡は入っております。管理している遊歩道は綺麗にしてもまた糞をされ、鳥がいなくならないと根本的な解決にならないと、本市内部でもお話させていただいております。中央区役所、工営所等と連携させていただいたうえで、どういった解決策ができるかということを、現在検討させていただいているところであります。	事務局 河川課　松原
ありがとうございます。商店会でも大きな問題です。通行人に糞がかかって嫌な思いをするなどということもあり、根本的にハードの問題でどう変えるか、セクションを超えた総合的な対応が地元商店街を含めた課題となっておりますので、よろしくお願いいたします。	永尾代理
ご報告ありがとうございました。この大変厳しい中、非常にいろいろ頑張ってくださっているなと思いました。その中で質問なのですが、8ページのイベントの数が、この情勢の中、販促Aが昨年15件が1件に対し、一般の方が微増しています。この違いが何なのか、背景的な事情等お聞かせいただければと思います。もう一つ、収支のところで、この結果に驚いています。昨年は赤字で今年度は黒字となっているのはどういう理由があるのか、ご説明いただければと思います。	豊島委員
まず一つ目のご質問については、販促Aは昨年度15件、コロナの影響でいつどうなるか分からない中、企業PRなどは実現に向けて進めないというお話をいただいております。特にハイシーズンである上期は緊急事態宣言中であり、解除後もすぐには準備ができず、実現には至りませんでした。反面、一般は増加しているということですが、販促Bは地方公共団体などが収益無しで実施していただいているのが販促Bになります。これらの販促A,Bを除いたそれ以外が全て一般になります。例えばパネル展示、イルミナーションなど直接集客をせず、間接的に来場動機につながるような施策を中心に開催したので、増加に繋がっています。収支につきましては、収入が増える見込みがない中、できることは経費をどれだけ減らせるかでした。大きくは人件費の部分と委託費用を見直しました。併せて地域活性化のための貢献費用400万円支出しておりましたがこちらを100万円に削減いたしました。	管理運営者 南海電鉄　酒井
ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。	豊島委員
ありがとうございました。ご報告を承ったというところでございます。我々こういう生活を続けて2年以上になるわけですけども、その中で大変ご努力をしていただいて厳しい状況の中、しっかり管理運営をしていただいたかと思います。一方で人が減り、ゴミが増えたり、スケボーであったり、カワウの話であったり、当初想定していなかったような課題もたくさん出てきておそらくは、人出が戻れば解決する話ではあると思いますが、まだいつ人出が回復するという見込みが立っているわけでもありませんので、特にカワウの問題については喫緊の課題であろうということで引き続き対策についてご検討いただきたいと思います。また収支についてもご努力いただき昨年度は700万円の赤字であったところ、93万円の黒字にしていただきました。 それでは、報告事項かわまち大賞についてということで事務局よりご説明をお願いいたします。	嘉名座長
それでは、事務局より説明させていただきます。資料の最終頁をご覧ください。「大阪市かわまちづくり」となっている最後の2ページを見ていただいてよろしいでしょうか。まず「かわまち大賞」について説明させていただきます。全国で進められている「かわまちづくり」の中から地域を流れる川を活かして賑わいを創り出し、他の模範となる先進的な取り組みとして、国土交通大臣が表彰するものになっております。そういった「かわまちづくり」に登録されている場所が全国で道頓堀を含め、244か所あり、令和3年度のかわまち大賞の受賞対象として、宮城県の名取市および大阪市の2団体が受賞することとなりました。その中でどのような評価を受けたのかは、資料の左側のページに「かわまちづくりの特徴」が書いてあります。「行政間の連携だけでなく、民間等による沿川地域の開発と連携した一体的な水辺遊歩道や橋梁、船着場等を整備することで個性的な水辺空間を創造している。」と二つ目として「都市・地域再生等利用区域の指定により公募で選定した民間事業者が包括的に占用しており、賑わい創出のために民間企業のネットワークや情報発信手法を駆使して、多様なイベント等を実施している。」三つめとして「学識・沿川地元代表者・行政からなる検討会において、地域住民や各種団体等の意見聴取を行い合意形成を図りながら、活動をおこなっている。」そして評価のポイントとしまして、「道頓堀川は、全国に先駆けて先進的な規制緩和のスキームを使い、遊歩道を作って人の流れを変えたり、水辺空間周辺の建築物を蘇らせたり、舟運を実施してまちの中の水辺の価値向上を図ってきた。その活動実績は高く評価できる。」二つ目としまして「乗船している人と橋の上にいる人がお互いに手を振り合うフレンドリーな光景や、川沿いのお店の雰囲気や看板・垂れ幕など、大阪らしい賑やかな雰囲気の醸成に貢献しており、高く評価できる。」といった喜ばしい評価をいただいております。そして右側のページですが冒頭川戸からもお伝えさせていただきましたとおり、昨年の12月23日に東京の国土交通省大臣室にて表彰式が執り行われました。本市から高橋副市長、南海電鉄様から高木代表取締役専務執行役員、地元委員さまからミナミ御堂筋の会高橋代表理事、高台連合振興町会から長岡相談役にそれぞれご出席いただきました。表彰式では斉藤国土交通大臣から表彰状および記念品が授与されたあと、大臣を交えて意見交換会を開催されました。お忙しい中ご出席いただいたみなさま、あらためてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。本市としましても、道頓堀川での長年に渡る賑わい創出の取り組みが評価されたことは大変喜ばしいことであると思っております。今後とも南海電鉄さまや本検討会の委員のみなさま、関係機関のみなさまと様々な協力をさせていただきながら道頓堀川のさらなる発展に取り組んで参りたいと思っております。以上、事務局からのご報告とさせていただきます。	事務局 河川課　松原
ありがとうございました。この件について、何かご意見や、当日いらっしゃった委員様から補足等はございますでしょうか。	嘉名座長
事前に地元の皆様から様々なオファーをいただき、国交大臣にお話しさせていただきました。また、カワウの件ですが、東京では道頓堀の比でないくらいに被害があります。南海さんも頑張っていただいていますので引き続きよろしくお願いいたします。	高橋委員
長岡さんもよろしいですか。	嘉名座長
はじめての経験ですし、こんなにたくさんの方々の中で、みなさんを代表して行かせていただいたということは名誉なことであり、道頓堀、大阪で良かったなと実感しています。問題ということではありませんが、この写真でわかるように大臣室に窓があって、明るいその前に並んで写真を撮ったので、顔が分からない。なぜ反対側で撮らなかったんだろうと。話は変わりますが、日課でよく歩きますが、道頓堀のほうにもよく行きます。先ほどからお話の合った鳥の糞ですが、みなさんで工夫し、話し合って解決することが必要だと思います。	長岡委員
ありがとうございます。私もかわまち大賞については良く知っています。すごい賞だと思います。南海さんあるいは道頓堀については民間さんが直接管理している事例としてはそもそも、全国でも殆ど無いと言っていいと思います。東京、大阪の一部地域だけだと思います。その中で長年にわたってやってらっしゃるということで、いただいて当然かなと思います。厳しい状況の中でも何とか頑張っていただいて、しんどい時期ではあると思いますが、このタイミングでかわまち大賞をいただけるということは地域にとっても大変誇らしいんじゃないかと思います。 それでは続きまして、その他ということで、今回は特定の議事は定めていないのですが、せっかくお集まりいただいているので、それぞれ委員の方々に一言ずついただきたいなと思っております。 まず杉山先生からお願いいたします。	嘉名座長
先ほどの大賞の受賞、おめでとうございます。我が事のように嬉しく思っております。この会に出させていただくようになって4，5年になると思いますが、それだけ携わっていますと愛着も出てきまして、地元のみなさんと一年に一回こうやってひょっこり寄せていただくことしかできないんですけども、嬉しく拝見させていただきました。それがゆえに今後のことをどうしていくのかという問題にどうしても関心がありまして、分からないところがあるので教えていただきたいのですが、今大阪、関西圏は2025年の万博に向けて、このコロナ禍の中を乗り越えて、いろんなコラボレーションを行って進めていこうとされていると思います。また、南海さんへの委託期間があと7年あると思いますが、そうなると万博後がどうなるのかなという検討もそろそろ始めておいた方が良いのではないのかなと個人的には思っていまして、そのあたりまだ現時点でどういったものがというのは無くて良いのですが、南海さんや大阪市さんでお考えのことがあればお教えいただければと思います。	杉山委員
南海電鉄の矢野でございます。愛着を持って見守っていただいて、ありがとうございます。おっしゃるように2028年まで受託期間がございまして、あと7年間ございます。我々南海といたしましても2025年の万博は迎えるけれども、そのあと4期、5期と地元の皆様方のサポートをいただきながらやっていきたいと思っております。線路はなくても弊社の沿線であると思っております。万博というのは一過性のものであろうかと思います。各商店街の皆様方もいろいろと頑張っておられますので、我々南海といたしましても「グレーターなんば創造部」ということで難波は芯として新今宮まで活性化をしていこうと、その一番北側が道頓堀エリアでございます。この道頓堀を含んだこのエリアの回遊性をどのように上げていくんだというところに集中して、人の回遊性を高めていくことにとりかかっていきたいと思っております。まだまだこれから大阪、これから元気を取り戻せるという風に思っておりますので長い目で取り組んでまいりたいと思っております。簡単ですが以上です。	管理運営者 南海電鉄　矢野

議事録	作成日	担当
	2022年3月18日	竹田

発言	発言者
長い目で見て頑張っていただけるということで、非常に安心いたしました。長い視点は非常に大事ですが、今はどこもコロナ禍で大変苦しい状況ではあるのですが、苦しいと言っていても楽しくないなと思っております。コロナが明けた後にどんなふうに盛り上げていこうかというような、将来の展望とか理想とかを思い描いていただけたらなと思います。今回の報告書の中にも新たな施策を継続していくとありましたので、アフターコロナの施策というのを具体的なところを考えていけたらなと思っております。コロナ前ももちろん頑張っていただいていたのですが、このコロナ禍において色んなことが新しくなったことですとか変わった事とかもあると思っておりましてオンラインですとか、YouTubeとかTiKToKですとか、Twitterとかそういうところに発信していくというのが、なかなか動きがとりづらい今、取り入れていただけたらと思います。YouTubeは収益が上がるらしいので、観光先の映像など見ることがありますが、いつか行ってみたいと思うような動画をUPしていただけたらと思います。難波をインターネットで検索するといろんな「道頓堀」の写真が出てきます。海外の方には英語での表記が必要だと思います。現地の看板も、注意喚起の表記も外国人の方も来られる前提で英語での表記があればと思います。よろしくお願いいたします。	豊島委員
吉田です。私もこの検討会で一年間の成果をお聞かせいただくのを楽しみにしています。しかたのないことですけど去年に引き続き、賑わいの創出という点においてはいたしかたない一年が過ぎてしまったなと。その中で努力していただいて、今期で言えば黒字にしていただいて、耐え忍んでいただいているなという印象を受けました。人が来なくなったかわりにカワウが来て、糞害など、色んな想定していなかった事が起こってしまったわけですが、カワウに対しては注意しても聞いてもらえないので、せめて人間に対する注意は必要で、ゴミが一つ落ちているとそれに連鎖して「ほかしていい」という意識に繋がります。ぜひともこの人の少ないうちに啓発活動を日本語、英語、中国語で分かりやすい形で実施していただければと思います。山歩きに行ったんですが、ゴミ一つ落ちていませんでいた。そこは地元の方が清掃活動をしています。注意喚起の看板も手作りで設置しています。そうするとそういう努力をする人がいるところにはゴミを捨てないということに繋がりますので、よろしくお願いいたします。またPR動画についてもやっていっていただければと思います。引き続きよろしくお願いいたします。	吉田委員
ありがとうございます。それでは地元委員のみなさまにも一言ずつお願いいたします。 それでは田中さん、よろしくお願いいたします。	嘉名座長
道頓堀西櫓振興町会の田中です。さきのほどの鵜の問題ですが、最初はカラス、次はネコ、今は鳥の糞害に遭遇している真っ最中です。ネコはゴミの放置に集まります。保健所に問い合わせても近くに離してくださいとのことでした。カラスはビルの屋上で配管のスポンジを餌にしていたり、今度は鳥の糞です。何とか対処いただきたいと思っております。資料を見ますと緊急事態発令以降、街が一挙にゴーストタウン化してしまいまして、戎橋から日本橋まで人が歩いていない、店も開いていない、そのかわりホームレスがやって来る。どうなるか心配していました。その頃に比べると今日は若い人がたくさん来ていたり、人通りが戻ってきていますが、まだまだ厳しい状況だと思っております。「道頓堀」という名前は日本のどこを探しても無い。ネームバリューはあるはずです。 「腐っても鯛」「腐っても道頓堀」という自負をしておりますので、よろしくお願いいたします。	田中委員
ありがとうございます。それでは続いて池田さん、よろしくお願いいたします。	嘉名座長
道頓堀商店連盟の池田です。この会に参加させていただいて一つだけ教えていただきたいことがあります。15ページの現場管理のところで、警備体制のところですが、商店連盟の方でも警備を実施していますが、コロナ以降、警備のコストが赤字のレベルに達しています。ただ、空き巣や看板の破壊等があり、警備はやらざるを得ない状況です。リバーウォークの警備についてコストの考えや警備体制について教えていただければと思います。	池田代理
南海さんいかがでしょう。コストを下げながら、いろんなトラブルに対処されていましたが、どのような工夫がおありなのかお教えいただければと思います。	嘉名座長
出来ることは限られますが、ベースとなるのは各所に設置している防犯カメラで、何か異常があれば駆けつけるというのが基本になりますが、それだけでなく、長年管理運営をしておりますのでノウハウが蓄積されています。事前に時間、曜日を定めてスポットとして重点的に巡回するなどの工夫をしております。日中帯1名、夜間2名の1日3名体制で実施しております。	管理運営者 南海電鉄　酒井
メリハリを利かせながら工夫をしてらっしゃるということですね。 エリアマネージメントの事例で言いますと、色んな団体で警備をシェアするということもありますし、いろんな方法があると思います。情報をシェアするということも方法の一つかと思います。 加瀬澤さん、お願いいたします。	嘉名座長
加瀬澤でございます。私共は桜川東振興町会ですが、湊町エリアです。以前はバーベキューなど実施して賑わっていましたが、台風の影響を受けてから実施できていない状況です。現在は少し寂しい状況になっています。コロナでいろいろ大変だとは思いますが、黒字にしていただいたのは本当にありがたいことです。 防犯カメラの件ですが、なかなか簡単には付けられないでしょうが、あることで抑止力になったらいいなと思います。来年も引き続きよろしくお願いいたします。	加瀬澤委員
ありがとうございました。 永尾さんお願いいたします。	嘉名座長
道頓堀永尾でございます。かわまち大賞、素晴らしいことだと思います。我々の街はすばらしい街だったんだなと。評価ポイントを見て、乗船している人と橋の上にいる人が互いに手を振りあって、川沿いの店も賑やかですごく大阪らしい、懐かしい光景だなという風になっているのが現状です。ただ、先ほどもお話がありましたが、「腐っても鯛」「腐っても道頓堀」という言葉を我々の時代に言わなければならないとは想定もしていなかったことで、今道頓堀、心斎橋もシャッター街のようになり、このような事態は戦時中以来ではないか。毎日、テレビで「本日の感染者数」と道頓堀の映像は全国に放送され、風評被害的なものがかなり大きいと思っています。銀座、道頓堀、京都嵐山は、コロナ禍における風評被害はかなり受けています。いかに我々は、みなさんと一緒になってどう、賑わいを戻すか、人が安らげる街をどう作っていくかが大事だと思っております。コロナであっても道頓堀に来たいと思わせる取り組みが必要だと思っております。2025年の大阪万博に向けて、道頓堀をショールーム化できないかと商店街の中では思っております。道頓堀ナイトカルチャー協議会でもインターネット、AR、VRなどデジタル化した取り組みを考えております。 戎橋のトイレについて、現在無くなっておりますが、立て替えを実施しています。ここ1、2年かけて実施していきます。オール大阪、オール商店街で2025年に向けた楽しい仕掛け、わくわくするような仕掛けができないかと思っており、頑張って参りますのでよろしくお願いいたします。	永尾代理
ありがとうございます。それでは増田さん、お願いいたします。	嘉名座長
宗衛門町商店会の増田です。宗衛門町商店会は、10年ほど前、電線地中化、石畳化を実現しました。その時も17年くらいかけてこれを実現しました。それをするにあたっては合宿までしまして街のコンセプトを「食と酒、川のあるまち宗右衛門町」ということを目指してやろうと進めてまいりました。夏祭りも何十年続く沿川の祭りです。この2年はコロナで中止になっています。相合橋で開催している「お化け餅つき」も、コロナで2年ほどできなくなっています。商店会の会員の半分は川に面し、もう半部は川の北側にあり、なんとか賑わいを起こしたいということで、2025年までに歩行者専用道路にすることを目指しています。道頓堀の川沿いを歩いていただいて、道頓堀も歩ける、宗右衛門町も歩けるということで、車での事故防止にも繋がりますので、なんとか万博までに実施できればと思っております。また最近は海外のお店が増えてまいりまして、街はどんどん変わっています。この中で街もどういう風に協力しながら作っていったらいいかというのが宗右衛門町の課題でございます。	増田委員
はい、ありがとうございます。続きまして高井さん	嘉名座長
道頓堀商店街振興組合の高井です。見させていただいてこの厳しい中、大変ご苦労なされたんだなと思います。次年度のお話を少しさせていただければと思います。引き続き厳しい状況も想定されますが、解除されることも想定されます。もし解除されるのであれば、具体的な展望も必要になってくると思います。短期的に次年度の前向きな対策をお願いいたします。中期的には万博を活かし道頓堀がどう絡んでいくのかということを我々も含めて考えていかないといけないと思っていますが、何か考えがおありなら聞かせていただきたいと思います。	高井委員
ありがとうございます。いかがですか。次年度なかなか見込みが立たないところもあろうかと思いますが、順調に回復するパターン、厳しい状況のパターンを想定しながらご準備いただくと思いますが、もし次年度に対してご計画があれば南海さんからお願いいたします。あと２０２５年に向けて、何かあればお願い	嘉名座長
まず短期的なところでは、広告やオープンカフェが下がってきてはおりますが、収入面の下支えにはなっています。そこを活かしつつ、今後予定されているリフレッシュ工事などに応じて、考え方を定めていこうと思っております。あとは大黒橋の北側エリアの広いスペースを活用して人を呼び込める遊歩道にしたいと考えております。	管理運営者 南海電鉄　酒井
ありがとうございます。それでは高橋さん、お願いいたします。	嘉名座長
東京と大阪の一番違うところは警察の数です。東京は改善が進んでいます。比べてグリ下に関しては、まだまだ治安が悪い状況です。ミナミ御堂筋の会でも違法駐輪、ゴミ問題なども抱えています。大阪市さんの協力も得て一致団結して解決する必要があります。オール大阪でやらないといけないと思います。万博、IR、新なにわ筋など街が大きく変わります。この5年、10年です。その時に来るであろう外国の方の受入も考える必要があります。大事なのは意見の統一です。ガードマンの件も統一すればコスト削減にも繋がります。横の繋がりが大事だと思います。それを誰が統括するかです。道頓堀に関しては南海さんがやっていただいているのでありがたいと思っております。	高橋委員
ありがとうございます。よくわかりました。しっかり頑張ってくれているとお褒めをいただきましたので。南海さんも大阪市さんもお帰りなられてからご報告下さい。	嘉名座長
私も黒字になったのは驚きました。すごいなと思います。とは言いながら次年度どうしていくかは、状況を見ていきながら判断していく事になろうと思います。今後は光も見えてくるのではないかと思いますので、その中でとんぼりリバーウォークがミナミ再生の足がかりに、それから身近な生活問題、防犯の問題や鳥の問題とか地域の皆様にとっては重要な課題のご指摘もいただいたかと思います。これは河川管理者だけで解決できる問題ではないと思いますし、南海電鉄さんだけで解決できる問題でもないと思いますので、区役所さんのお知恵とかいろんな部局さんの連携が必要であって、そこで解決していかなければならない問題だと思いますので解決策の模索をお願いしたいと思います。2025年に向けてというお話もたくさんいただいたかと思います。とんぼりリバーウォークは水都大阪の中でもかなり早くからスタートしており、老朽化が進んでいます。そのあたりも含めて地域の皆さんとか管理者の意見も取り入れながら新しいとんぼりリバーウォークのあり方をお考えいただければと思います。御堂筋の空間再編もあり、恐らくミナミの人の流れは大きく変わってくる可能性があります。その中でとんぼりリバーウォークの果たす役割位置づけも変わってくる可能性が充分にあります。ミナミは道頓堀の一極集中、黒門市場とかポイントには人が混雑するしているが、本来はたくさんの人に回遊していただきたいところですので、その中でとんぼりリバーウォークはとても重要な期待の星ですから、次のミナミのあり方を見据えた中でぜひとんぼりリバーウォークのあり方もぜひ考えていただきたいと思います。リニューアルがあるのであればぜひうまく連携していければと思います。よろしくお願いいたします。 あとこれだけは言いたいという方おられますか。	嘉名座長

議事録	作成日	担当
	2022年3月18日	竹田

ぜひGoTo道頓堀をやってほしい。道頓堀に人を来てもらえるような取り組みをやってほしいと思います。	長岡委員
私もびっくりしたのが、何年か前アイドルのコンサートを川を挟んで実施していたこと。これはどこでもやっていない。全国でも注目されましたので、南海さんはこういったことをやってくださるのでまたチャンスがあればぜひともなにかミナミ発でやっていただければと思います。ありがとうございました。 予定しておりました議事につきましては以上となります。 それでは事務局にマイクをお返ししたいと思います。	嘉名座長
4. 閉会	
嘉名先生、大変ありがとうございました。 検討会の予定内容はこれで以上となります。本日はお忙しいところ、貴重なお時間をいただきありがとうございました。皆様におかれましては今後とも引続き、どうぞよろしくお願いいたします。 また今回をもちまして「道頓堀川水辺空間利活用検討会」は満期を迎えることとなり、来年度より新検討会を立ち上げさせていただきます。検討会名称は「道頓堀川水辺空間魅力創造検討会」の予定です。次回開催は、令和5年2月から3月頃を予定しておりますが、案件の状況に応じまして臨時で開催する場合もございますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。 それでは、これをもちまして、「第3回 道頓堀川水辺空間利活用検討会」を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。	事務局 河川課 深谷